

# フリーソフトWinAmp 5.05追加情報

2004年11月18日

伊藤 達彦 tachan@remus.dti.ne.jp



先日のホームページでご紹介した、Winamp5.05に関する追加情報です。

特に大きな変更点はありませんが、私が使ってみてのレポートです。

ノートパソコンでSD/RDの際に使用しているときに下記のようなケースに気が付きました。(PDFにて歌詞やキューシートを提示する時)

## Winampは、「Fullバージョン」より、「軽いLite版」が良い！よ うです。

Downloadするときに気がつかれていたかもしれませんが、Winampには、①Fullバージョン、と②Lite版の2種類があります。

特に、動画映像等を再生しないのであれば、この【Lite版】をインストールして使った方が、軽くてパソコンの動作が安定するようです。

ノートパソコンでは、メモリーをXPでは、標準の256MBから倍の512MBに容量を増やしておけば、安定度も高まるようです。ところが、モバイルパソコンでこれ以上、メモリーを増やせないタイプの物を購入して使ってみると、Fullバージョンでは、『SD用の歌詞をPDFにして、音楽を再生しながら、歌詞を動かす』と、音楽の音飛びがしてしまうのです。

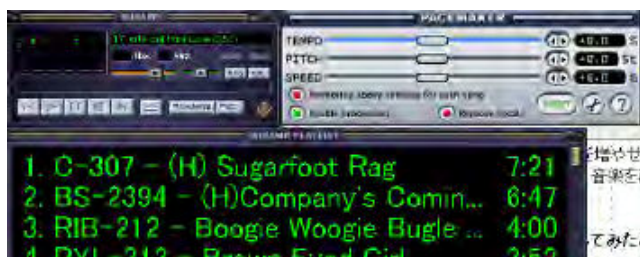
いろいろと試してみたのですが、結果は、「Lite版」に入れ替えて使ってみたところ、音楽の音飛びもなくなりました。「音楽再生」だけの用途ですから、【動画再生】までのフルモードまでは必要ありませんので、Lite版がいいことがわかりました。

速度調整機能「Pacemaker」をWinampで同時に使えるように「アドイン」する方法の資料



WinampにPacemakerをアドイン(プラグイン)するまでの手順

このクリップマークを「クリック」すると、PDF資料が開きます



Pacemaker V2.02新しいバージョン

